

プログラム名	No.3	宮教大もりのたんけんたい
実施団体	○団体名:宮城教育大学幼児教育研究会 ○代表者名:飯島 典子 ○電話:022-214-3511 ○FAX:022-214-3511 ○所在地:仙台市青葉区荒巻字青葉 149 宮城教育大学 飯島典子研究室 ○メール:n-iijima@staff.miyakyo-u.ac.jp	
対象者	幼児(3~5歳)	
対象人数	20人まで	
学習場所	宮城教育大学	
学習時間	2~3時間	
学習時期	10月中旬~11月上旬(金曜日10:00~12:30)	
準備物品・費用等 (講師謝金を除く)	実施団体側	探索グッズ、救急セット、防虫スプレー、カメラ、印刷機、名札、ビニールシート、紙芝居、材料、落ち葉、木の実等
	利用者側	帽子、軍手、タオル、動きやすい服装、ビニール袋、昼食、水筒
事前打ち合わせ	実施の1か月前頃(大学への移動手段と到着時間の確認など)	
効果的な学習段階	幼児期の環境学習の導入	

学習概要	1. 学習のねらい 幼児教育では、「環境」「表現」「健康」「人間関係」「言葉」という5つの発達側面があり、直接的体験を通して発達を助長すること、子どもの「生きる力」の基礎を育むことをねらいとしている。 本プログラムの索活動では、子どもたちが豊富な自然環境に触れ、自然とのかかわりを深めていく中で、自然に対する興味・関心を育む。	
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>12 つくる責任 つかう責任</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>15 陸の豊かさも 守ろう</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>11 住み続けられる まちづくりを</p>  </div> </div>	
	2. 学習する内容 (1) たんけんたい始まりの会 ○一日の流れや安全・マナーの確認 ○体操	
(2) 探索へ出発 ○宮教大の構内を探索し、自然の中にある不思議を見つけていく。 探索の途中には、いくつかのチェックポイントがあり、そこに示されたテーマから自然についての理解を深めていく。		
	3. 学習のポイント <ul style="list-style-type: none"> ・グループに分かれ、一緒に活動する仲間を確認する。 ・アイスブレイクとして、みんなで楽しく体操する。 ・活動内容および活動中の注意事項を子どもと確認する。 ・葉っぱや木の実の、色や形の違いに気付く。 ・同じコースの友達と、探す楽しみ、見つける喜びを共有する。 ・五感を使って自然とかかわる。 	

(3) 自然物を使った制作活動

- 構内で集めた自然物を見ながら、それぞれの特徴を確認する。
- 集めた自然物を使って制作活動を楽しむ。



- ・活動で集めた自然物を出して、場面や状況などを振り返り、自然についての気づきを言語化する。
- ・自然物を組み合わせ、子どもの内面から溢れる表現を具体化する。

(3) 昼食

- 会話を楽しみながら、昼食を摂る。

(4) たんけんたいライセンス授与式

- たんけんたいライセンスを受け取る。

- ・活動を振り返り、達成感を味わう。これからも自然に対して、興味・関心をもち、自ら自然とかかわろうとする意欲を持つ。

4. 学習のまとめ

普段、車の往來を気にせず思い思いに歩く機会が少ないと思われる幼児にとっては、コースを歩くというだけでも豊かな探索活動となる。落ち葉や木の実を集めることを楽しみながら、それらに様々な種類や形、色などがあることに気づくようになる。また、落ち葉を踏んで感触を楽しむなど、体の諸感覚を使って自然とかかわることの楽しさを実感できるようになる。さらに、仲間との会話を楽しみ、初めて出会った人々との関わりを通して子どもの社会経験を拓けることができる。

<p>追加・変更できる学習内容</p>	<p>プログラム時間を短縮することができます。</p>
<p>事前・事後学習についての助言</p>	<p>事後学習として、この活動によって得た様々なかかわり（自然とのかかわり・自然を通しての人とのかかわり）や、自然への興味・関心をさらに深めていただきたい。</p>
<p>雨天時の学習内容</p>	<p>雨天時は、原則中止。 用意された自然物で制作活動をする。</p>